

あわらの自然 人情に触れる

休校中のあわら市波松、吉崎両小学校で十三、十四両日、金沢市でフリースクール二校を運営する一般社団法人「LYHTY（リユフト）」の合宿があった。小学四年―中学三年の子ども八人とスタッフが訪れ、海岸で拾った貝殻などを使ったクラフト作りや左義長への参加で、豊かな自然や温かな人情を満喫した。

両校は地元住民を中心に利用策を検討中で、宿泊やフリースクールへの活用の可能性を検証するのが狙い。あわら市政課で休校舎利活用を担当する地城おこし協力隊の中内奏太さん

金沢のフリースクール

（こ）が昨秋から誘致してきた。二〇一六年三月の休校以降、フェスタや防災訓練など地域行事で使ってきたが、外部団体への貸し出しは初めて。

住民と食事や 左義長に参加

波松小に十三日に到着した子どもたちは、住民が講師を務めるクラフト教室を楽しみ、体育館で遊ぶなど大はしゃぎ。飲み物や野菜の差し入れが相次ぎ、温泉街のセントピアあわらで入

休校の波松・吉崎小で合宿



東川雄央区長（左から3人目）らと交流する子どもたち―あわら市波松小学校で

宿後、子どもたちはその野菜で鍋やカレーを作り、住民らと食卓を囲んだ。波松区長の東川雄央さん（左）は「ナシやサツマイモの収穫など、波松は多様な体験ができる場所」と再訪を呼び掛けた。

子どもたちは校長室や多目的ホールで宿泊し、十四日朝に吉崎小へ移動。近くの吉崎春日神社の左義長に参加し、地元女性陣らからせんさいや甘酒の振る舞いを受けた。吉崎区長の末富攻さん（右）は「四月には蓮如上人を描いた「御影」のお迎え、七月には湖畔の夕べがある」と、地域の歴史や自然を紹介した。

LYHTYは初の県外合宿山の学校の教育管理責任者・長原葵さん（こ）は「地域の方との交流が魅力的だった。温かく受け入れていただき、子どもたちも楽しみ、学べたと思う」と話していた。（北原 暁）